

平成27年2月20日

各位

会社名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
(コード 8737 東証第2部)
問合せ先 取締役執行役員社長室長 川中 雅浩
(TEL 03-6821-0606)

持分法適用会社である豊商事株式会社に対する公開買付けについて (開示事項の経過)

平成26年12月26日付けにてプレスリリースいたしました「持分法適用会社である豊商事株式会社に対する公開買付けについて」(以下「本プレスリリース」といいます。)において、検討事項としておりました豊商事株式会社株式に対する公開買付けへの応募に関する当社方針について決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社方針

当社は、保有する豊商事株式会社(以下「豊商事」といいます。)の普通株式1,793,000株(豊商事の発行済株式総数の20.15%。小数点以下第三位を四捨五入しております。)について、今回の株式会社プロスペクト(以下「プロスペクト」といいます。)による豊商事株式に対する買付け価格1株当たり400円、買付予定株式数4,538,000株(発行済株式数の51%)を買付け条件とする公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)には応募せず、保有を継続いたします。

2. 方針決定の経緯及び理由

当社は、本プレスリリースの開示以降これまで、主に、(1)豊商事株式への投資価値の観点、(2)当社の証券事業子会社と豊商事の業務提携により当社にもたらされる価値の観点から、本公開買付けへの応募の有無が当社の企業価値に与える影響について、豊商事との協議をもとに、慎重に検討してまいりました。

(1) 豊商事株式への投資価値

当社は、豊商事株式の価値に関して、同社の現状の一株純資産額1,104.10円(平成26年12月31日現在)や、同社の本公開買付けへの意見表明において示された、同社取締役会としての合理的な評価額一株913円~1,013円を参考に、本公開買付けにおける買付け価格は著しく低いと考えております。また、当社は、同社の経営リソースの高い潜在力、すなわち、

潤沢な流動性を有する強固なバランスシート、強い営業力を有する組織、商品先物専門サービスから商品・証券・FX・CFDまでの総合的なワンストップ・サービスの担い手への変化にコミットする経営陣、それらを高く評価しており、それが将来的により大きな株式価値につながるものと考えております。

さらに、平成 27 年 2 月 19 日付豊商事プレスリリース「株主還元方針に関するお知らせ」において示された、配当性向 30%とする拡充された新しい株主還元策も、同様に同社の株式価値を高めることにつながると考えます。

(2) 当社の証券事業子会社と豊商事の業務提携により当社にもたらされる価値

当社証券子会社は豊商事と証券媒介における業務提携を開始しております。この業務提携は、資本提携関係がなくなった場合には影響を受け得るものである為、今回の豊商事との協議を通じて、その将来価値についての分析検討を行ってまいりました。具体的には、3年後の預かり資産 6,500 百万円、稼働顧客口座 4,000 口座、当社への営業収益貢献として 100 百万円程度を、相互の協力を通じて実現させていくことを目標としており、当社にとっての大きな価値が見込めるものと考えております。

上記の(1)と(2)における将来の不確実性を考慮に入れたとしても、豊商事との資本提携によって当社にもたらされる価値は、本公開買付けに応募して得られる現金を再投資して得られる価値に比べると大きな潜在力を持つものと考えます。したがって、当社としては、豊商事株式に対する本公開買付けには応募せず、同社株の保有を継続することが、当社としての企業価値の拡大に資することになるものと考えます。

3. 今後について

上記のとおり、当社としては、豊商事の潜在的成長力や同社の新しい株主還元策による同社株式価値の向上、同社との業務提携効果による当社業績の拡大などを見込んでいることから、同社との更なる連携関係の強化を図りたいと考えています。

以上